

### 1 自己評価及び第三者評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                        |            |  |
|---------|------------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 2894000088             |            |  |
| 法人名     | 株式会社 サザンツリー            |            |  |
| 事業所名    | グループホーム サザンツリー (東ユニット) |            |  |
| 所在地     | 兵庫県姫路市飾西330番地          |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成23年2月1日              | 評価結果市町村受理日 |  |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigo-kouhyou-hyogo.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2894000088&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-hyogo.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2894000088&amp;SCD=320</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |  |
|-------|--|
| 評価機関名 |  |
| 所在地   |  |
| 訪問調査日 |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念に掲げている「その人がその人らしく暮らせる」よう、入居者と職員がともに暮らし、深くかわりを持っている。入居者全員にセンター方式を取り入れ、それぞれの個性を大切に、気持ちに添ったケアを心がけている。管理者や職員は、日々気付いたことを報告、記録、共有し、話し合いをして、ケアの質の向上や一貫したケアの提供に努めている。家族の希望もお聞きしながら「三位一体」のケアに取り組んでいる。東ユニットでは、開設以来毎日の散歩や入居者の電子オルガン演奏とコーラスが日課であり、心身の活性化をはかり、健康で豊かな気持ちになれるケアを心がけ、継続している。西ユニットでは、個性あふれる入居者に対し、真の気持ちに寄り添うケアをつねに探りながら、穏やかで自然な笑顔があふれる生活を送れるように、また思い思いの暮らし方の支援に取り組んでいる。

【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

|  |
|--|
|  |
|--|

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>該当するものに 印  | 項目  | 取り組みの成果<br>該当するものに 印  |
|--|---|---|---|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |   |

# 自己評価および第三者評価結果

[セル内の改行は、(Alt+Enter)です。]

| 自己              | 第三者 | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-----------------|-----|---|---|------|-------------------|
|                 |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |   |   |      |                   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                           | 「地域とともに生きる」を理念のひとつに掲げ、日々考え実践している。職員は毎日の朝礼で理念の唱和を欠かさず行い、意識付けを行うことで、ケアの質向上につなげている。              |      |                   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                           | 地域の催事への参加は、入居者のあたりまえの生活の一部となっている。特に、包括支援センターのなごみの会との交流は回を重ねて実績を残している。                         |      |                   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                         | 定期的に認知症見守り隊員を受け入れて、入居者の現状を知っていただく機会を設けている。地域住民に向けては、道沿いに伝言板を設置して交流のきっかけづくりをしている。              |      |                   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている      | 2カ月に1度開催し、現状報告を行っている。知識のない方々に認知症を理解していただくことは容易ではないが、メンバーの包括支援センター委員の方には理解を深めていただいていると実感している。  |      |                   |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                | 今年度は開設以来初めて介護保険課の实地指導を受けた。具体的な指摘や指導をもとに、ホームの運営改善に役立てた。また、定期的にホーム便り等で現状報告をしている。                |      |                   |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 内部研修を実施しており、開設以来身体拘束は行われていない。安全確保のため、門扉の施錠については、家族の同意を得ている。毎日の散歩や定期的な外出により開放感を感じていただくよう努めている。 |      |                   |
| 7               | (6) | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている      | 「尊厳のある生活」を理念のひとつに掲げており、開設以来虐待が行われたことはない。内部研修を実施し、つねに職員の意識付けを行っている。                            |      |                   |

| 自己 | 者<br>第三 | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|---------|---|---|------|-------------------|
|    |         |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | (7)     | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 外部研修を受講させたり、内部研修を実施し、職員の理解を深め、家族支援に役立てられるよう努めている。現在、ホームに住所を移したり、成年後見制度を利用する入居者が複数おられる。    |      |                   |
| 9  | (8)     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時には、重要事項等の説明に十分な時間をとり納得していただくようになっている。料金等改定の際は、書面で通知、説明し、理解いただくほか、定期的な連絡や面談を心がけている。     |      |                   |
| 10 | (9)     | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 家族の訪問時には、職員が入居者の近況をお知らせし、ケース記録を閲覧していただいている。要望や問題がある場合は、ケアマネや管理者が同席するカンファレンスを実施し、改善に努めている。 |      |                   |
| 11 | (10)    | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 月1回、管理者及び職員全員が出席するスタッフ会議を実施し、問題解決や改善提案の場としている。管理者は、職場において日常的に職員らの相談や報告を聞き、現状把握に努めている。     |      |                   |
| 12 |         | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 毎日の会話や面談を通じて職員の意見を取り入れ、職場環境や労働条件の改善を実施している。職員の能力や実績を公平に評価することで、やる気を引き出すよう努めている。           |      |                   |
| 13 |         | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 希望または勤続年数や経験に応じて、外部研修を受講させている。また月1回の内部研修において様々な事項を取り上げ、プロの介護者としての知識やスキルを身につけられるように努めている。  |      |                   |
| 14 |         | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会に出席し、他ホームとの交流に努めているが、相互訪問には至っていない。当協議会では、踏み込んだ話し合いができていないので、関連な意見交換に努めたい。     |      |                   |

| 自己                       | 者    | 第三 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|--------------------------|------|----|---|--|------|-------------------|
|                          |      |    |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |    |   |  |      |                   |
| 15                       |      |    | 初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 不安なく過ごして頂く為、本人、家族に見学に来て頂いたり、本人、家族が同席の上で要望や不安などお聞きしている。また初期には細やかな声掛けで安心できるよう努めている。                |      |                   |
| 16                       |      |    | 初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 本人と家族の思いが違うことを理解し、家族の意見や要望、気持ちの葛藤等を出来る限り受け止めるような関係作りを心掛けている。                                     |      |                   |
| 17                       |      |    | 初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 面談や相談を重ね、家族や本人の実情や要望を聞き取ったり居宅ケアマネジャー等からも必要な支援の見極めをするべく相談しながら安心して生活できるよう配慮している。                   |      |                   |
| 18                       |      |    | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 家庭的な環境で共に生活する中、できる事はしていただいている。入居者から経験上の様々な生活の知恵を学ぶことも多く、関わりの中で喜怒哀楽をともにしながら良い関係を築くようにしている。        |      |                   |
| 19                       |      |    | 本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族の面会時や毎月の一筆箋にて本人の生活の様子を知らせている。また家族との面会や外出を気兼ねなくして頂けるような雰囲気を作り、行事等の交流の場で職員と家族が触れ合うともに連携に取り組んでいる。 |      |                   |
| 20                       | (11) |    | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                       | 家族だけでなく、友人、知人の面会や電話もあり手紙や年賀状のやり取りも継続できるよう、その人のこれまでの生活を大切に支援している。                                 |      |                   |
| 21                       |      |    | 利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 入居者同士が関わり合いを持ち、喜びや楽しみを共有したり一緒に感じながら共同生活が送れるよう支援に努めている。また入居者同士がトラブルになりそうな時は職員が介入し回避している。          |      |                   |

| 自己                              | 者    | 第三 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|---------------------------------|------|----|---|--|------|-------------------|
|                                 |      |    |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                              |      |    | 関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 移り住む関係者に本人の状況や習慣、好み、ケアの取組み等詳しく伝え、本人の環境の変化によるダメージが最小限になり、暮らしの継続性に配慮してもらえるよう働き掛けている。 |      |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |    |   |  |      |                   |
| 23                              | (12) |    | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人と家族の思いが違うことを理解し、家族の意見や要望、気持ちの葛藤等をできる限り受け止めるような関係作りを心掛けている。                       |      |                   |
| 24                              |      |    | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | これまでの生活歴や暮らし方や習慣、サービス利用の経過について家族や本人から情報収集し<br>把握した上で安心した現在の生活ができるようにしている。          |      |                   |
| 25                              |      |    | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | レクリエーションや散歩体操食事や入浴などすべての生活シーンの中、様子を観察し一人ひとりについて何ができて何ができないのか、また何ができそうなのか把握に努めている。  |      |                   |
| 26                              | (13) |    | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 担当職員が毎月モニタリング、アセスメントを行い、会議や朝の朝礼後など、気付いた点や意見を出し合い検討しながら介護計画作成や見直しを行っている。            |      |                   |
| 27                              |      |    | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | ケアに携わった者やその記録者が一日の様子を記入し職員間で情報を共有しながらどのように行えばより良いケアができるのか見直しを行っている。                |      |                   |
| 28                              |      |    | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 季節の行事を行い、買物や外食も含め本人や家族の状況に合わせてマンツーマンで対応する等その時々ニーズに添った対応をしている。                      |      |                   |

| 自己 | 第三   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|--|--|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域のボランティアを受け入れている。近隣のスーパーや美容院の利用、地域包括の協力を得て地域の方と料理作りなど交流を通して豊かで楽しみの或る暮らしを支援し、地域に根差したホームを目指している。              |      |                   |
| 30 | (14) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 提携している地域の総合病院、歯科往診があり本人や家族の希望に添って利用して頂いている。また受診時には情報を提供し、連携を図るようにしている。                                       |      |                   |
| 31 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護職員は配置していないがバイタル測定し、表情、体調の観察を行っている。職員は介護に最低限必要な医療の知識を持つよう努め、家族との密な連絡相談しながら、医療機関へは適時受診できるよう情報提供している。         |      |                   |
| 32 | (15) | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関には、本人の情報提供をしている。それを更に医療機関や家族との情報交換、相談と進めている。環境の変化によるダメージの軽減に努めるとともに入退院がスムーズにできるよう見舞いをしたり、家族との相談にも対応している。 |      |                   |
| 33 | (16) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化の対応については入居時を含め予想される早い段階から職員、家族、本人間で話し合いを重ね、その時々で事業所もどこまで支援できるかを家族にも説明したり希望を聞き他の施設を紹介するなど支援している。           |      |                   |
| 34 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 応急処置や緊急対応のマニュアルがあり、会議で話し合っているがさらに緊急時の職員の連携を中心に実践力をつけたい。  |      |                   |
| 35 | (17) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 地域消防署の協力を得て、年2回の避難訓練を実施し近隣住民の方にも参加して頂いている。今後もあらゆる状況に迅速に対応できるような体制を整えたい。                                      |      |                   |

| 自己                           | 者 第  | 項 目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------------------------------|------|---|--|------|-------------------|
|                              |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |      |                   |
| 36                           | (18) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 声掛け時には言葉遣いもとより、本人の思いや尊厳を尊重した対応を心がけている。また、トイレ使用時には一人ひとりのプライバシーに配慮している。                          |      |                   |
| 37                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 目線を合わせ思いやりの態度で声掛けをし、言いやすい環境作りを心掛けている。表出ができてにくい方に関しては、解りやすい言葉、または選択して頂いたり、毎日の表情や動作などから察することもある。 |      |                   |
| 38                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者一人ひとりの体調或いは個性を見極め本来のその方のペースに合わせて支援するよう心掛けている。   |      |                   |
| 39                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 入居者の好みを把握し一緒に服を選んだりスキンケアなど声掛けしたり其々のおしゃれを楽しんで頂くよう支援している。  |      |                   |
| 40                           | (19) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 会話や笑いを交えた楽しい食事を心掛けている。季節感のある献立、彩りに気を配り、利用者が昔から食べ馴染みがあるものを提供している。片付け等個々にできることを見極め職員と一緒にやっている。   |      |                   |
| 41                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 年1回の健康診断の結果などを考慮し、食事量、栄養バランス、水分量など一人ひとりの状態やADLに合わせた支援をしている。                                    |      |                   |
| 42                           |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 入居者の力に応じた食後の口腔ケアの支援をしている。義歯の方には週2回の消毒を行い、観察により定期的な歯科往診を受けて頂く場合もある。                             |      |                   |

| 自己 | 者<br>第三 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|---------|---|--|------|-------------------|
|    |         |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (20)    | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 個々の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行っている。長時間排泄されない時は状況を見て 尊厳を保つよう距離を保ちながらトイレの使用されるよう側面より支援したり、力に応じた対応をしている。    |      |                   |
| 44 |         | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 適度な運動とバランスの良い食事作りを心掛け、朝食にはヨーグルトや牛乳を多く摂取している。また排便の有無に注意し腹部マッサージを取り入れたり、トイレ使用の有無の把握や毎日の水分量を記録している。 |      |                   |
| 45 | (21)    | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | その日の入浴者には前もってお伝えし、好みの服を選んで頂き職員と一緒に準備し無理強いせず、時にその方の要望に合わせ時間も考慮している。また、入浴中も想いや昔話など会話を楽しんで頂いている。    |      |                   |
| 46 |         | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 一人ひとりの生活習慣に添い、夜間も居室で寛ぎ、テレビを観られたり、対話により笑顔で落ち着かれるようにしている。  |      |                   |
| 47 |         | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 個々の既往症や薬の効能を理解しており、服薬管理をしっかりとて、全職員が些細な変化に気づき主治医や家族へ報告、相談するように努めている。                              |      |                   |
| 48 |         | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | それぞれが気分転換を図れるように楽しみなこと、役割、残存能力を生かし張り合いのある毎日を送れるよう支援している。   |      |                   |
| 49 | (22)    | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 毎日のように戸外へ出かける事を心掛け、地域とのつながりを大切にしている。家族の協力を得ながら四季折々の風物にも触れて頂けるよう支援している。                           |      |                   |



| 自己 | 者    | 第三 | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|----|---|--|------|-------------------|
|    |      |    |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      |    | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭管理ができる入居者には職員同行で買物に行き、ご本人が支払いをするのを見守る。管理の困難な方には、預かり金から支払う。また、利用明細の報告をしている。                                   |      |                   |
| 51 |      |    | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 家族の了解を得て電話や手紙を出したりできるよう職員が取り継いだり、その方に応じて見守りしたりと支援している。送られてきた手紙は本人に渡し家族にも報告して関係の継続に努めている。                       |      |                   |
| 52 | (23) |    | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ゆったりとして安全な空間づくりに努め、リビングや洗面所など常に清潔にして季節の花を飾ったり、音楽を流したりしている。行事予定や写真、レクリエーションで作成した季節感を感じ取れる作品などを展示し家庭的な雰囲気を感じている。 |      |                   |
| 53 |      |    | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングにはソファを置き、廊下にも少し会話ができるような椅子、テーブルを配置している。リビングではテレビを観たり音楽を聴いたり、ゆったりと過ごせるよう工夫している。                             |      |                   |
| 54 | (24) |    | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 家庭の延長となるよう家族と相談し、馴染みの家具や家族の写真を置いている。居室ではテレビを観たり、本を読んだり一人の時間も楽しめるよう配慮している。                                      |      |                   |
| 55 |      |    | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 掃除の時などできるだけ全員に参加して頂き各居室の掃除やモップ掛けや手すりの消毒等その人ができる事を見極め、生活の中で一緒にしたりしながら安全で力を生かした支援を工夫している。                        |      |                   |